

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院 消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

調査対象となる期間： 2018年7月23日から2019年5月30日までの間に大腸カプセル内視鏡検査のために虎の門病院消化器内科に通院し、大腸カプセル内視鏡検査を受けられた方

### 【研究課題名】

大腸カプセル内視鏡検査における前処置法の検討

### 【研究の目的・背景】

#### 《目的》

日本カプセル内視鏡学会が推奨した大腸カプセル内視鏡検査の前処置のレジメンを一部改良した前処置法の有効性検討する。

#### 《研究に至る背景》

2014年1月に大腸カプセル内視鏡検査が世界で初めて日本で保険収載されて6年が経過しました。2009年以後海外でも多くの施設でその前処置法が検討され、日本でも他施設共同研究を行い、2018年2月には日本カプセル内視鏡学会から前処置法の推奨レジメンも提案されました。しかしながらその検査時間が長く、腸管洗浄液の飲水量が多いことが問題であり、広く普及しておりません。

### 【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2020年5月29日 ～ 2020年11月30日

### 【単独／共同研究の別】

単独研究

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院 消化器内科 松井啓 のもと研究終了報

告日から10年間または最終の研究結果報告日から10年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

**【診療情報を虎の門病院の院外へ提供する場合】**

本研究に使用した診療情報は虎の門病院の院外に提供しません。

**【利用する試料・情報の項目】**

診療情報： 検査データ、診療記録、内視鏡画像データ、薬歴など

**【虎の門病院における研究責任者】**

虎の門病院 消化器内科 松井啓

**【利用する者の範囲】**

虎の門病院附属健康管理センター 荒木昭博

虎の門病院 内視鏡部 技師長 カプセル内視鏡読影支援技師 小山亜希子

虎の門病院 消化器内科 布袋屋修

虎の門病院 消化器内科 野村浩介

虎の門病院 消化器内科 早坂淳之介

**【試料・情報の管理について責任を有する者】**

研究責任者 虎の門病院 消化器内科 松井 啓

**【研究の方法等に関する資料の閲覧について】**

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

**【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】**

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2020年8月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

**【相談窓口】**

虎の門病院 消化器内科 松井啓

〒105-8470 東京都港区虎ノ門2-2-2

電話 03-3588-1111(代表) FAX 03-3582-7068

メールアドレス amatsui@toranomon.gr.jp